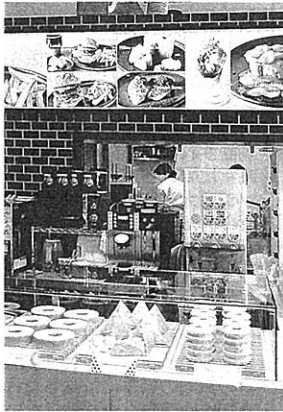




竹田典高専務(右)に話を聞く武庫川女子大3年の河合美沙季さん＝姫路市北条北川原

中華麵と和風たしの組み合わせがユニークな「まねき」は、ファンをつかんだ。ほかには弁当の製造販売も日本料理店などを手がける。昨年12月にはJR姫路駅ビルで女性向けのカフェを開き、顧客拡大を進める。「まねき」の印象が強い。「JR姫路、元町駅にある店の調理販売は主事業。194品用意しています」

新規カフェ事業に手応え



昨年12月にオープンした「ハイミーカフェ」＝姫路市駅前町(まねき食品提供)

「カフェを出店した狙いは、求めている人材が課題で、カフェなら心を集めやすいと考えました。一押しは、姫路城の天守閣をイメージしたパウムクレーン。クリムをのせたクレーン風や果物ベジストを練り込んだものもあり、口持ちもよいので、姫路の新たな土産としてPRしたい」

「7月中旬に神戸ハーバーの商業施設『umi』内の3店舗を出した。週末は大勢の買い物客で、食歩きのよきスタイルでパウムクレーンを楽しんでもらえるような売り方を」

「挑戦心が旺盛な。今後も積極的に取り組めるかどうかを重視します。お客様の声を聞き、周りの人にきちんと感謝できる人になってほしい。口持ちもよいので、姫路の新たな土産としてPRしたい」

「まねき食品(株) 出店を広げる計画は。」

兵庫県内の中小企業と大学生の就職マッチングを支援する「Mラボ事業」(興、神戸新聞社)と連携し、学生と一緒に企業を訪ね、経営者インタビューをしました。就

「まねき」は1999年(明治32)年創業。姫路市を中心に、そば・うどん店や弁当店などを展開する。従業員307人。2016年8月期の売上高は2億5千万円。16年度の採用は8人。姫路市北条北川原0650。☎079・224・0220